

令和4年度 学校評価アンケート集計結果まとめ

1 回答者数	生徒	397名(回収率 50.9 R3:66.0 R2:98.0)
	保護者	486名(回収率 62.3 R3:63.5 R2:62.5)
	教職員	55名(回収率 68.8 R3:72.0 R2:76.5)

※生徒アンケート:R2までは教室で紙に記入、R3からはGoogleForm活用

2 実施時期 令和4年12月12日(月) ~ 令和4年12月19日(月)

3 集計結果の概要

アンケートはA(そう思う)、B(大体そう思う)、C(あまりそう思わない)、D(そう思わない)、E(わからない)と回答していただき、各項目のA~Eの割合を算出しました。そして算出結果のAとBの合計が、おおむね「85%以上」と「70%以下」の設問及び前年比±5%の項目を顕著なものとして分析しました。

(1) 生徒アンケート

多くの項目で評価が高く、70%以下のものはなく、ほとんどの項目が昨年度より増加し、減少した項目も微小でした。「この学校に入学してよかった」という回答は、昨年度より上昇しました。学習や進路の指導に関して評価が高く、また身だしなみや挨拶、ルール順守など生活態度を意識している生徒が多いと思われます。

(2) 保護者アンケート

85%以上の評価はなかったものの、すべての項目が昨年度よりプラスとなり、本校の指導と成果について、一定の評価と理解を得られたものと考えます。ただし、学校から保護者へのコミュニケーションやPTA活動への評価が低く、また学校の情報発信や生徒対応の改善を求める意見がありました。

(3) 職員アンケートから

本校の教育目標や生徒・保護者、地域の要望が、分掌や教科の目標及び計画に反映され、指導や教育活動が適切に行われているとの認識が多く見られます。また、生徒と積極的に関わり、生徒の健康や安全・安心に関する情報共有や連携が図られています。資格取得の学習や外部とのコラボなど各種教育活動での積極的な取り組みも見られます。一方、家庭学習習慣定着、学校の目標や計画の生徒・保護者への周知、生徒の進路指導において課題を感じている割合が高くなっています。

4 次年度に向けた課題と改善策

With コロナの中、様々な工夫しながら、体育祭、学校祭、インターンシップ、修学旅行を実施することができました。また、1年次と2年次のウィンタースポーツ教室、3年次の研修旅行(修学旅行の代替、工業科・情報科は実施済、普通科・商業科は2月に予定)を計画するなど、コロナ前の教育活動に戻りつつあります。今後も感染防止を図りながら、生徒や保護者、地域の期待や要望に応えられるように学校運営に取り組んでまいります。

(1) 生徒の学びの充実に向けたカリキュラムマネジメント

生徒の学びの充実に向けて、校外の研修に積極的に参加し、ICTも活用しながら授業改善及び指導と評価の一体化に取り組みました。また、就職は例年のように高い内定率となり、進学もほとんどの生徒が第一志望に合格できました。特に国公立大学合格9名(R5年1月現在)は、開校以来最多の昨年度の10名に続き高い実績となりました。資格取得にも高い成果をあげるとともに、地域や上級学校と積極的に連携・協働し、地域や社会の課題解決に向けた生徒の意識を高めることができました。今後も生徒の自己有用感を高める質の高いキャリア教育を行っていきます。

(2) 社会に開かれた学校

本校は、家庭や地域と目標を共有し連携・協働しながら、社会や地域の発展を担い課題解決に積極的に取り組む人材育成に取り組み、本校の活動をホームページや各種ブログなどで情報を発信してきました。こうした社会との目標共有と連携・協働した教育活動をさらに推進し、地域社会の発展を担う人材を引き続き育成していきます。

(3) 生徒・保護者とのコミュニケーションの一層の推進に向けて

生徒と保護者のアンケート結果から、ほとんどの評価が昨年度より高くなりました。校内外の研修による指導力向上や教員間の情報共有による指導の改善が、高い評価となったと考えます。しかし、指導や対応について厳しいご意見もあり、特に進路や保健に関する情報は、これまでも適切な時期を捉えて提供してきましたが、コロナ禍でのコミュニケーションや情報発信に課題があると感じます。学校全体の情報発信はもちろんのこと、学級や年次、学科、分掌などの情報発信も推進し、生徒の主体性を育む丁寧な指導や対応に図り取り組んでまいります。

5 おわりに

学校評価は、学校経営の重要な目安となるものです。全体の評価はもちろん、ご意見一つひとつを真摯に受けとめ、学校経営のさらなる改善に努めてまいります。

今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。